

市川市立福栄中学校 令和7年度 学習の指針

教科 美術科

学年 3年

1. 学習の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活と社会生活の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

2. 学習計画

	学習内容	学習のねらい
I 学期	○仏像の基礎知識 (鑑賞、小テスト) ○工芸デザイン 「暮らしを彩るポーチづくり」	・修学旅行で鑑賞する仏像についての基礎知識を身につける。さらに、東大寺の2つの像について鑑賞し、自分なりの鑑賞の視点をもつ。 ・自分自身が日常生活の中で使いたくなる生活と調和した美しいデザインについて考え、主題を生み出し、表現の構想を練る。 ・スクリーン印刷、カッティング版の特性を理解しながら、意図に応じた効果的な形態や構図を選択し、工夫して表す。
2学期	○鉛筆デッサン ○美術の基礎知識(小テスト) ○鑑賞(西洋美術)	・対象の特徴をよく観察し、形や陰影を捉えて表現する。 ・今までに学んだ美術的な基礎知識を生活の中で生かせるように理解できているか確認する。 ・美術作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、自らの見方や感じ方をもつ。
3学期	○彫刻 「使いたくなる自分キーホルダー」 ○鑑賞	・自分自身を見つめ、興味や用いる場面などを基に主題を生み出し、心豊かに表現する構想を練る。 ・意図に応じた効果的な構図、技法を選択し、工夫して表す。 ・美術作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、自らの見方や感じ方をもつ。

3. 評価

(1) 内容および方法

	評価の内容	評価の方法
①知識・技能	作品の意図に応じて、身に付けた知識・技術を適切に用いて表現できているか。	・完成作品 ・小テスト
②思考・判断・表現	自らの考えをもとに、作品の構想を練ることができているか。表現の意図に応じた技法を用いることができているか。	・アイデアスケッチ ・デザイン画・完成作品 ・感想文
③主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習に取り組むことができているか。自らの表現を真摯に追求し表現することができているか。	・授業・作品への取り組み ・鑑賞への取り組み ・提出物の状況・内容

(2) 観点と評価の関係

			評定
A	A	A	5
A	A	B	4
A	B	B	
A	A	C	
A	B	C	
B	B	B	
B	B	C	
A	C	C	
B	C	C	2
C	C	C	1

<評価の注意事項>

評価は、各題材毎に上記の評価方法に基づいて算出し、期間内の学習内容を各観点毎に合算したものが評定になります。各題材の目標を基に自分なりの主題を生み出すこと、そして自分の主題を表現する過程でより良い表現につなげるために表現方法を試行錯誤することが評価につながります。

4. 教科に関するアドバイス

- ・毎時間の目標に対して、自分なりの考え方や方針をもって取り組みましょう。
- ・学習したことをもとに、自分なりの見方・感じ方を深め、考えたことを自分なりに作品に表現しましょう。
- ・課題に必要な資料を集め、調べ学習をすることが作品を制作するうえで大切なことです。
- ・忘れ物をせず、毎時間授業にしっかり取り組み、自分と向き合い学びを深める時間にしましょう。
- ・作品・道具・授業プリントを大切にし、提出期限を守りましょう。
- ・美術表現では一人ひとりの個性が味わい深い作品を生み出します。完成まで積極的に作品に取り組み、たくさんのかたちを生み出しましょう。